

清田区連携だより

清田区幼保小連携推進協議会だより

令和3年度 第1号

令和3年7月29日 発行

発行：協議会代表者会

第1回協議会を開催しました！

令和3年度もコロナ禍のスタートでしたが、今年度は、ZOOMを用いたオンラインで5月25日に実施いたしました。全体会では、下記のように幼小からそれぞれ提言をいただき、それを受けて、ブロック研修会は、ブロック代表の小学校の先生に進行いただき、自己紹介、コロナ禍でも交流・連携できそうなこと、第2回協議会に向けた内容などを話し合いました。

以下にご紹介いたします。

〈目的〉子どもの発達や学びの連続性を保障し、幼児期と児童期の教育を円滑に接続する。

〈清田区令和3年度のテーマ〉

子どもの学びや育ちをつなぐ幼保小の連携

～接続期を共に考え、接続期カリキュラムを充実させよう～

＜令和3年度 代表者＞

三里塚小学校長	古田 浩章
平ヶ岡幼稚園長	進藤 律子
札幌北野保育園長	宮本 美保
認定こども園にじろ園長	織江 真由美
かつこう幼稚園長	笹山 雅司

※保育園代表者が6月より認定こども園からまつ保育園 道端堅太郎先生から宮本美保先生に代わりしました。

全体研修会

当日のプレゼンの抜粋です。

よろしくお願いいたします！

『コロナ禍の幼小連携の取組例報告』 北野しらかば幼稚園 武田先生

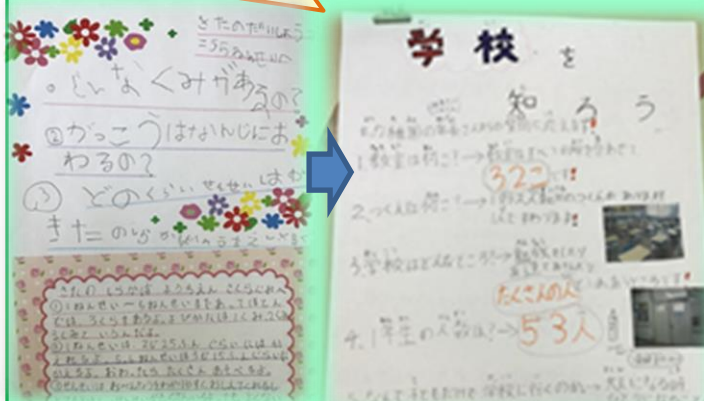
～子ども同士の交流による成果～

- ・小学校への期待が高まる。
- ・1年生、6年生の関係になった時の再会。
- ・保育教諭と小学校教諭の情報交換の場所となる。

小学生との交流は子どもたちが楽しみにしている時間。必要な時間。



コロナ禍でも手紙交換によって交流が生かされた！



園児からの質問に⇒小学生が答えてくれた！

『スタートカリキュラム作成の考え方』 清田緑小学校 佐藤先生

4. 45分を工夫して

第1期 第2週 通案 4月12日(月)～4月16日(金)

札幌市立南緑小学校 第1学年

中級・高学年で「時間」について、いろいろな関わり。
・小学校では、子どもは時間によっていろいろな活動ができる。学校の生活のペースがわかる。
・時間の感覚を養って、生活のペースをつかむ。

お手本サポート

4月12日(月) 4月13日(火) 4月14日(水) 4月15日(木) 4月16日(金)

1. テーマ「いよいよ時間制の決まるよ」～時間制の決まるよ～
時間制にまつての学習活動を展開し、様々な学びに対する好奇心や意欲をもって、友達と一緒に楽しみながら取り組む。学校の生活のペースをつかむ、身に付ける。

2. ねらい
・ 時間制を理解し、時間制の決まるよ～時間制の決まるよ～
・ 時間制にまつての学習活動を展開し、様々な学びに対する好奇心や意欲をもって、友達と一緒に楽しみながら取り組む。学校の生活のペースをつかむ、身に付ける。

3. 大団円にしたいポイント
・ 自分たちの生活のペースをつかむこと、相手の生活のペースをつかむこと。
・ 友達と一緒にいることに楽しみを感じ、関わりを深めようとする。
・ 自分がこれまで経験してきたことを生かして、自分の生活のペースをつかむこと。
・ 生活のペースをつかむこと、相手の生活のペースをつかむこと。
・ 友達と一緒にいることに楽しみを感じ、関わりを深めようとする。
・ 自分がこれまで経験してきたことを生かして、自分の生活のペースをつかむこと。

15分ずつ
スモールステップで!!

6. 子どもの主体性を

- ▶ 教師からの指示が多くならないように、「幼稚園ではどうしてた？」と問う。
- ▶ 「どうしたらいいかな？」「できそう？」「やってみたい？」
- ▶ 「無理じゃない？」
- ▶ 主体的な姿⇒ほめる⇒次へのやる気へ



ブロック研修会

今年度から、ブロックを教育委員会より示された『小中連携パートナー校』を活用して以下のように編成しました。将来、各地域で幼保小中（高）の連携に発展し、子どもの発達や学びの連続性が生涯に渡って保障されていくことを願っています。

ブロック協議の様子～今年度の取組と連携・協議会の予定など

Zoom のブレイクアウトルームの機能を使い、ブロックでの話し合いをしました。 ※以下は、6/15現在

	校・園名 ○:ブロック長	今年度の取組・連携方法	第 2 回協議会に向けて	計
A 北野	○北野平小:渋谷先生 ・北野小 ・北野しらかば幼・保 ・札幌杉の子保 ・ラブクローバーの保札幌北野 ・清田幼	○子ども同士の交流は、手紙のやり取りを実施 園児⇒5 年生へ 5 年生は、幼保の質問に答えるようにしてビデオレターを作成し、幼保へ送る。 ○教師の交流は、小学校の参観日に幼保の先生を招待し、授業参観。幼保の様子を小学校の先生が見に行く。	○日時、場所、方法については検討中	6
B 北野台	○北野台小:中川先生 ・札幌北野保 ・札幌きたの幼	○各園・学校の教育活動を充実させる。 ○授業参観と先生方の交流により、互いの理解を深め、教育活動や幼小の接続の在り方を考える。	10/7(木)13:30～ 北野台小 1 年・支援学級授業参観。その後、1 年生担任と交流し、幼保の教育活動について理解を深め、日々の授業や次年度の取組に生かす。	3
C 清田	○清田南小:池田先生 ・清田緑小 ・認にじいろ ・札幌南清田保 ・ラブクローバーの保札幌清田 ・光の泉幼 ・札幌国際大学附属認	○コロナ禍でも職員同士の交流を続けながら、方法を探っていく。 ○児童や園児の様子を画像や動画で紹介し、今後の交流に生かすために理解を深める。接続期のカリキュラムの修正に役立てていく。1 年生担任にも参加を広げ、連携を広げ、深めていく。	7/14(水)15:00～16:00 zoom にて 実施 ○小…入学後の 1 年生の生活・学習の様子 ○幼保…年長児の園での取組、園の特色等 上記を画像を添えて紹介	7
D 真栄	○有明小:宮本先生 ・真栄小 ・美しが丘緑小 ・美しが丘小 ・札幌真栄東保 ・札幌あさひ保 ・美しが丘幼	○各学校・園便りの交流 ○年長向けに児童が作成したスライド資料や動画などを活用した学校紹介 ○各学校・園のコロナ対策の交流 ○保護者への対応について ○オンラインを活用した交流・連携の在り方を模索…年長の懇談に小学校の先生がお話してくれたこと	10/1(金)15:45～ zoom にて開催 各学校・園における実践交流～各校のスタートカリキュラムについて	7
E 平岡	○平岡南小:中山先生 ・清田小 ・認からまつ保 ・清田保 ・ちゅうわ清田保 ・認つみき	○各学校・園の子どもの様子の交換 ・昼食時の様子、マスク着用の割合 ○学校と園の交流の取組 ・清田小の具体的な取組 ⇒手紙の交流などできるところから取り組みたい	○後日決定	7
F 平岡緑	○三里塚小:関根先生 ・平岡公園小 ・花山認 ・里塚幼	○年長児の様子を小学校職員が見に行く、小学校の授業参観日に園職員が見に行くなどして、互いに共有すること ○園児の疑問・質問を手紙で送り、文書や写真、動画、絵、ポスター等で答えてもら	○日程は未定、メール等で連絡を取り合って決定。 ※コロナの状況にもよるが、3 学期を目安に子ども同士の交流を考えていきたい。	4

		うなど工夫ができそう。 ○散歩時に小学校の近くを通ったときに校長先生にお話してもらおう等もできそう。		
G 平岡中央	○平岡中央小:稲場先生 ・平岡小 ・アルプス認 ・さわやか保 ・平ヶ岡幼	○年長児に小学校の様子を伝える行事や学習等の様子を動画で記録しておく。 ○保育園児が、小学校の夏休み等に利用し訪問することで、学校の雰囲気を知る ○小学校のカリキュラムで、幼保と1年生の交流が可能なものを見極める。	○小学校紹介動画を作成し、手紙等を交換する等する。 ○1年生と年長児の交流は、平岡小は、平ヶ岡幼と平岡中央小は、アルプス保、さわやか保と行う	5

※学校・園名は…小学校→(小)・幼稚園→(幼)・認定こども園→(認)・保育園→(保)

ご感想・ご意見

協議会に参加された皆様からのご感想等の抜粋をご紹介します。

小5と年長の交流が有効であることが確認できた。コロナ禍なので無理なく、着実に進めていくことが大切だと思う。何もできない、しないのではなく、できることを模索していきたい。＜小学校＞

人との交流が難しくても、連携が途切れないよう進めていくことが大切です。(ビデオレター、手紙、作品等の交流、施設利用など)

今後ブロックの中に中学校も参加し、幼保小中が一体となって「地域で子どもを育てる」体制を構築できたらと願っています。＜小学校＞

これを機会にリモートでも先生同士や子ども同士で交流を図っていきたいです。先生たちのお名前が分かりとても良かったです。新しい形での話し合いや交流の仕方に確信がもてました。＜幼稚園＞

今後、保育教諭、子ども同士の間接的交流(手紙、動画)小学校見学(保育教諭が小学校を知る)直接の交流で年長が小学校へ(校内探検、授業、交流遊び、給食体験など)小学生が園へ(一緒に活動、園児に絵本や紙芝居を読むなど)行いた

小学校や幼稚園に、より関心をもとうと思いました。小学生と園児が関わることで小学校に期待をもつと聞き、コロナ禍でも何か工夫をして子どもたちの安心に繋がれたらと思いました。＜保育園＞

幼小でそれぞれ大切にしている取組を共有できてよかったと思います。スタートカリキュラムについては、成果や課題を明確にしながら、より効果的に実行できるよう進めていきたいと感じました。＜小学校＞

スタートカリキュラムのお話が分かりやすかったです。また、卒園児の様子などが聞けて安心しました。＜保育園＞

近隣の小学校や自園の連携担当の先生が換わったが、ZOOM 会議でお話できてよかった。幼保小連携実現に向けた内容をつめることができることができ、コロナ禍でも連携ができる期待がもてました。＜幼稚園＞

「出来ない」とすぐに諦めるのではなく、「出来ることに挑戦する」を心掛け、コロナ禍の状況に向き合っていきたいと思いました。＜認定こども園＞

その1

連携・連絡を取り合いましょう！

今年度から中学校区にある幼保小でブロックを作り、第1回目の協議会のブロック研修会を実施しました。各ブロックで子どもや職員同士で交流・連携ができそうなことを考えて実行し始めていることと思います。第2回目の協議会に向けても、連絡調整されていることと思いますが、各園・学校の置かれた状況に応じ、無理のない形で双方がつながっていけるとよいですね。

第2回協議会に向けたお願い

今後、第2回協議会に向けて詳細が決まってきましたら、下記へE-mail や fax 等でお知らせ願います。右記の本園HPにて更新し、お知らせいたします。

その2

清田区“幼保小接続期カリキュラム集”を活用しましょう！

昨年度、各施設のカリキュラムを集めて、『清田区幼保小接続期のカリキュラム集』を作成しました。互いに参考にし合うことで、縦・横の連携を図るとともに、自校・園の接続期に、何を大切にするとよいかを考える機会になることを願っています。

今年度、第2回目の協議会やブロックで話し合う時にこの資料集を活用し、連携・接続について考えを深めてみませんか？

WEBで清田区内の情報を確認できます。
ぜひ、園や学校でもご活用ください。
かっこう幼稚園HP『保幼小の先生へ』
パスワード

<http://www.kakko-k.sapporo-c.ed.jp/>

幼保小連絡会のお知らせ

日にち：令和4年1月17日（月）
方 法：電話にて

＊幼児教育施設から小学校への引継ぎの会で、時間等の詳細は後日、幼児教育センターより文書が発出されます。

募集します！

昨年度から変更のありましたスタートカリキュラム等の接続期のカリキュラムで、変更がありましたら、下記にお送りいただきますと、新しく更新させていただきます。PDFにして、お送りください。お待ちしております。

Email: masashi.sasayama@city.sapporo.jp

郵送の場合：〒062-0053

札幌市豊平区月寒東3条7丁目7-2

札幌市立かっこう幼稚園 笹山 宛

☎852-1230 FAX852-2396

発行 代表者会（札幌市立かっこう幼稚園）
園のアドレス kakko-k@sapporo-c.ed.jp